

第 2 章

駒ヶ岳周辺の概要

2 駒ヶ岳周辺の概要

2.1 位置・行政区画

駒ヶ岳は北海道の南部に位置し内浦湾（噴火湾）に面している。北海道駒ヶ岳火山防災協議会は、森町・鹿部町・七飯町の3町で構成されている。

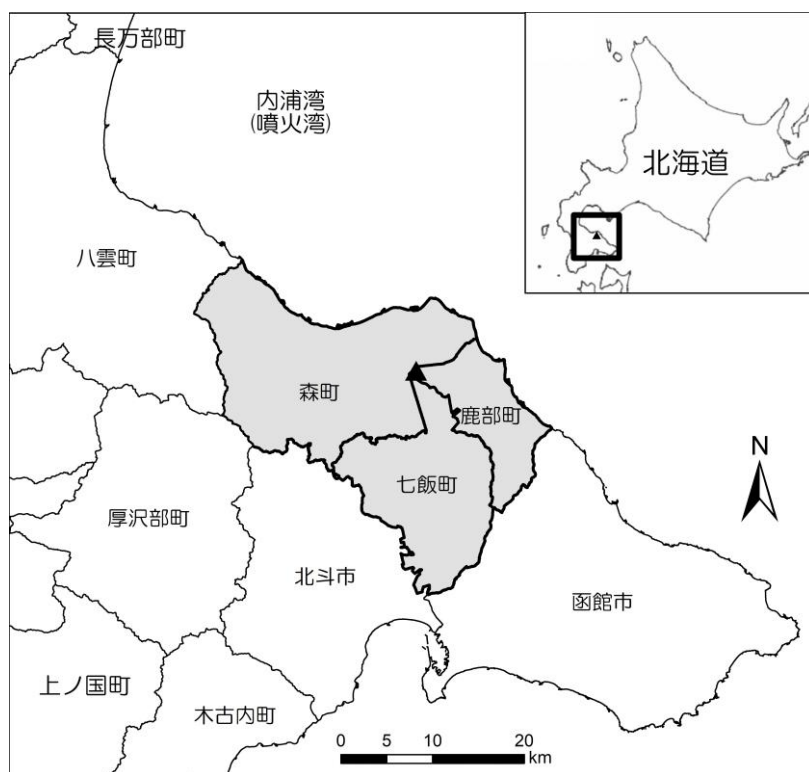


図2.1.1 位置図

表2.1.1 各町の諸元

郡名	市町名	読み仮名	JIS コード	人口総数 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
茅部郡	森町	もりまち	345	13,471	7,440	369	36.5
	鹿部町	しかべちょう	343	3,479	1,855	111	31.3
亀田郡	七飯町	ななえちょう	337	27,036	14,092	217	124.6

(令和7年4月30日現在)

3町の範囲と総面積は以下のとおりである。

3町の南端：140度42分 4秒 41度50分46秒（七飯町）

3町の北端：140度27分24秒 42度10分36秒（森町）

3町の東端：140度51分53秒 42度 0分34秒（鹿部町）

3町の西端：140度23分36秒 42度 7分23秒（森町）

3町の総面積：697km²

2.2 自然条件

(1)地勢

駒ヶ岳周辺地域の地勢を概略的に述べると、森町・鹿部町・七飯町の境界に駒ヶ岳（標高：1131m[剣ヶ峯]）が位置し、北方から東方にかけて内浦湾（噴火湾）に面している。鹿部町・七飯町・函館市の境界部には、横津岳（標高：1166.9m）が位置する。

水系を見ると、鳥崎川や折戸川が本地域の西方から内浦湾にかけて貫流している。また、常呂川、大船川、尾札部川がそれぞれ北方の内浦湾に向けて流れており、その周辺および海岸付近に低地が広がる。七飯町には、駒ヶ岳の噴火で生じた湖（大沼など）がある。

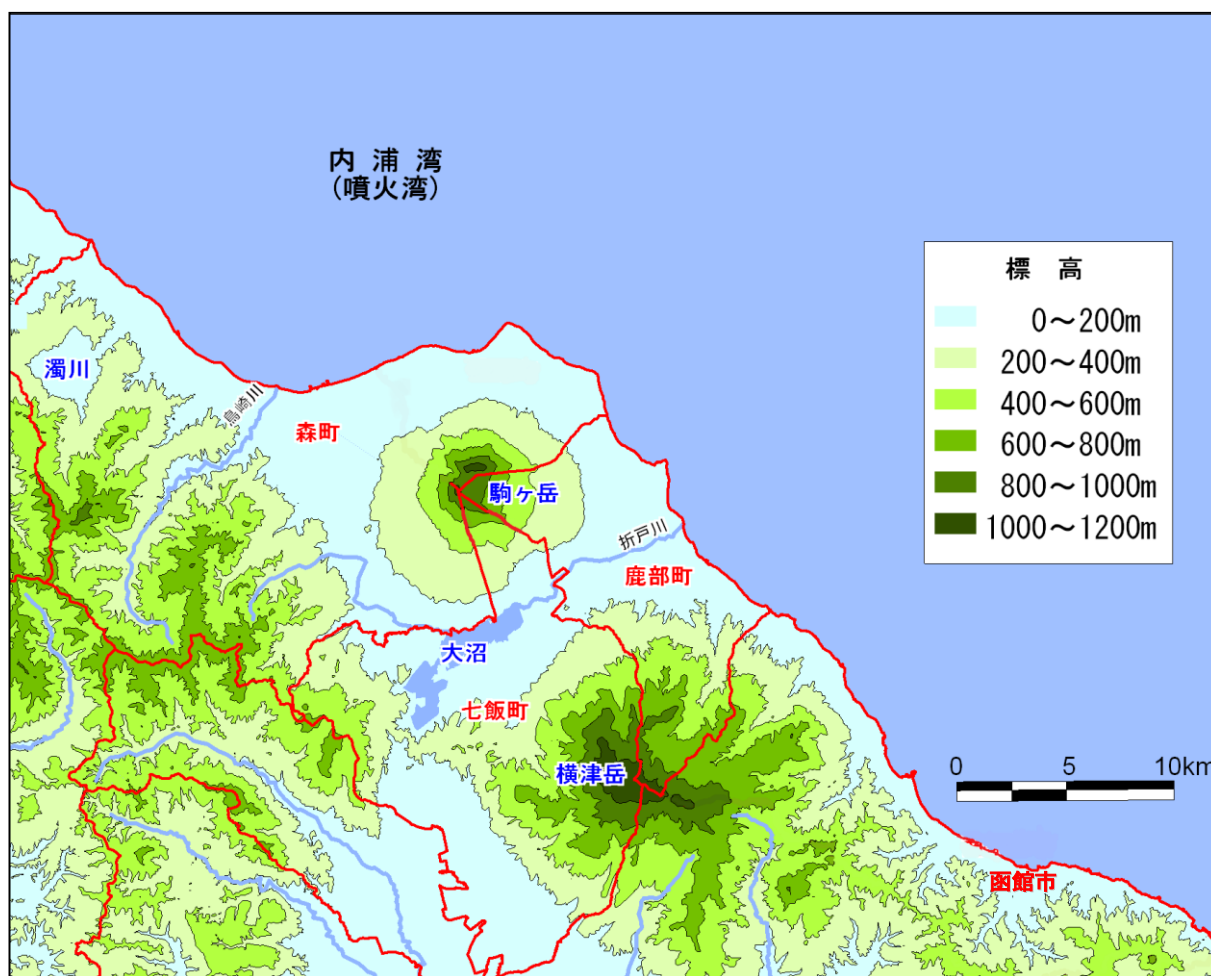


図2.2.1 駒ヶ岳周辺の段彩図

（国土地理院の数値地図50mメッシュ（標高）より作成）

(2)気候

北海道の気候は、日本海側、太平洋側西部、太平洋側東部、オホーツク海側に区分される（北海道地域防災計画より）。当地域の気候は太平洋側西部にあたる。

当地域は、年間の寒暖の差は比較的小さく、北海道内で最も温暖な地域に属している。

4月から5月は、日本海から低気圧や高気圧が交互に日本列島を通過し、天気は周期的に変化する。この期間の日照時間は多く、次第に暖かくなる。6月から7月にかけて、オホーツク海高気圧の勢力が強いときは、冷湿な東風の影響で気温が低く、曇りや霧となる日が続くこともある。7月から8月は、太平洋高気圧が北海道へ張り出し、夏型の気圧配置となって暑くなる。しかし、渡島半島が海に囲まれた海洋性気候であることから真夏日となることは少ない。9月から10月は、低気圧と高気圧が交互に日本列島を通過し、天気は周期的に変化するが、勢力の強い高気圧が張り出すと晴天が続くこともある。また、秋雨前線と台風の影響で大雨となることもある。11月から3月は、冬型の気圧配置になることが多く、気温は下がり吹雪になることもあるが、山岳が季節風を遮るため、比較的晴れる日も多く降雪量は少ない。

気象の概況を表2.2.1に示す。

表2.2.1 気象の概況

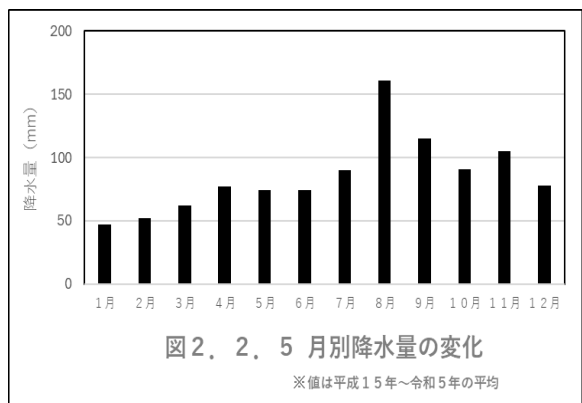
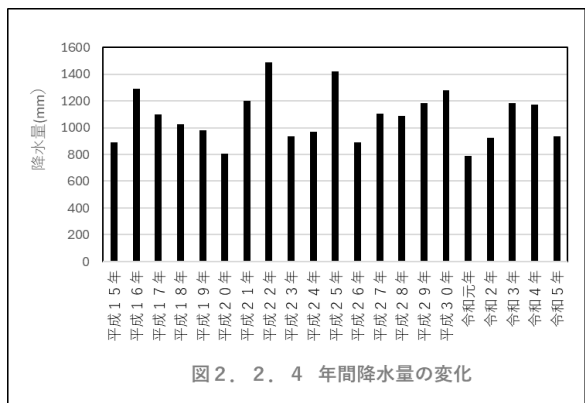
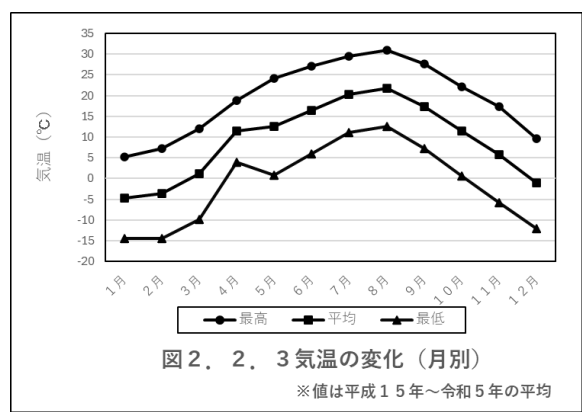
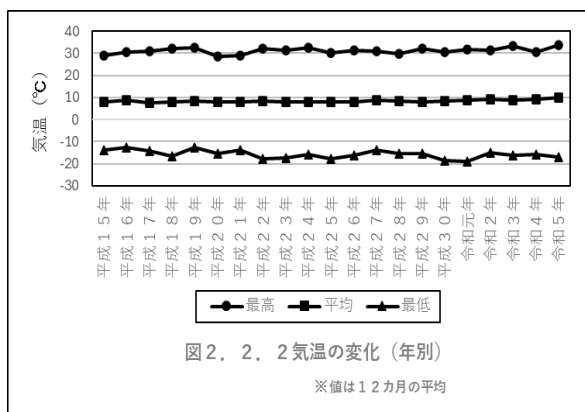
(函館地方気象台提供資料より)

年	気温 (℃)			降水量 (mm)		風速 (m/s) 風向 (16方位)			積雪 (cm)	
	平均	最高	最低	1日 最大	総量	最大 風速	風向	平均 風速	最深 積雪	最深年月
平成15年	7.8	28.9	-13.7	79	888	15	南西	2.8	77	3月8日
平成16年	8.7	30.4	-12.7	71	1288	20	南南西	3.0	46	2月9日
平成17年	7.7	30.9	-14.3	45	1099	14	南西	2.8	77	3月12日
平成18年	7.8	32.0	-16.7	49	1028	16	西南西	2.9	68	2月10日
平成19年	8.4	32.7	-12.7	131	982	13	南西	2.8	39	2月16日
平成20年	8.1	28.7	-15.6	83.0	807.5	13	南南西	2.7	74	2月24日
平成21年	8.1	28.8	-13.8	59.5	1200.5	18	南西	2.9	48	1月16日
平成22年	8.5	32.2	-17.6	102.5	1485.0	15.1	南南西	2.7	57	2月20日
平成23年	7.9	31.4	-17.2	66.0	932.5	13.6	南南西	2.7	81	1月12日
平成24年	7.8	32.6	-15.9	65.5	966.5	13.3	南南西	2.6	103	2月26日
平成25年	8.0	30.2	-17.9	174.0	1419.0	13.2	南南西	2.7	73	2月24日
平成26年	8.0	31.2	-16.3	60.0	889.0	15.8	南西	2.7	80]	3月9日
平成27年	8.8	31.1	-13.9	81.0	1103.5	16.2	南西	2.8	62	2月13日
平成28年	8.3	29.9	-15.6	67.5	1086.5	18.1	東	2.8	72]	1月24日
平成29年	8.1	32.1	-15.3	85.5	1183.5	13.5	南西	2.7	91	2月21日
平成30年	8.5	30.4	-18.4	59.5	1279.5	15.0	南西	2.7	99	2月15日
令和元年	8.7	31.9	-18.8	72.5	786.5	14.9	南南西	2.7	69	2月8日
令和2年	9.0	31.4	-15.2	71.0	922.5	13.8	南西	2.6	31	2月8日
令和3年	8.9	33.1	-16.2	85.0	1185.0	13.2	南西	2.7	89	3月2日
令和4年	9.0	30.5	-15.7	88.0	1173.0	12.4	南南西	2.6	86	2月17日
令和5年	9.8	33.6	-17.1	41.0	936.0	14.4	西南西	2.6	56	2月21日

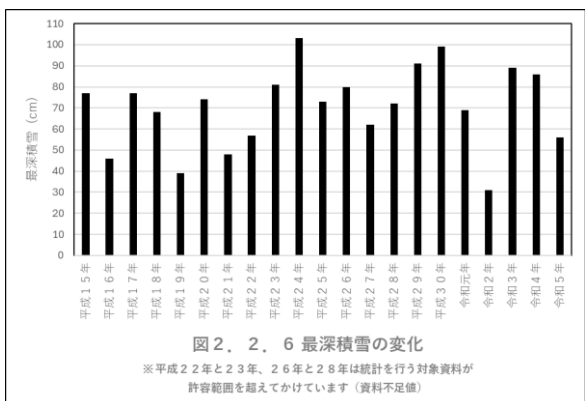
観測所名：森地域気象観測所（平成14年3月1日から観測開始。森測候所の統計は接続しない。）

最大風速（1日における毎10分の10分間平均風速の中の最大値）

最深積雪（毎正時の積雪の深さの最大値）



降水量は、平成20年3月25日から0.5mm単位で観測



最深積雪（毎正時の積雪の深さの最大値）

(3)過去の観測データ

森地域気象観測所で観測開始(平成14年3月1日)からの1位から5位までの値は、以下のとおりである。

(函館地方気象台提供資料より)

日最高気温の高い方から(℃)

順位	数値	出現年月日
1位	33.6	令和5.8.31
2位	33.1	令和3.8.5
3位	32.7	令和5.8.26
4位	32.7	平成19.8.12
5位	32.6	令和5.8.25

日最低気温の低い方から(℃)

順位	数値	出現年月日
1位	-18.8	平成31.2.8
2位	-18.4	平成30.1.24
3位	-18.2	平成30.1.25
4位	-17.9	平成25.1.10
5位	-17.6	平成22.2.4

日最大風速・風向(m/S)

順位	数値	出現年月日
1位	20(南南西)	平成16.9.8
2位	18.1(東)	平成28.8.30
3位	18(南西)	平成21.5.18
4位	17.3(南西)	平成28.4.17
5位	16.2(南西)	平成27.4.26

日降水量(mm)

順位	数値	出現年月日
1位	174.0	平成25.8.18
2位	131	平成19.7.28
3位	103.0	平成25.8.9
4位	102.5	平成22.8.12
5位	100.0	平成22.8.11

日最大1時間降水量(mm)

順位	数値	出現年月日
1位	63.0	平成29.7.22
2位	57.0	平成25.8.18
3位	55	平成19.7.28
4位	54.5	平成29.8.22
5位	51.5	平成25.8.9

月最深積雪(cm)

順位	数値	出現年月日
1位	103	平成24.2.26
2位	99	平成30.2.15
3位	91	平成29.2.21
4位	86	平成24.3.1
5位	85	平成30.3.1

観測所名：森地域気象観測所

統計期間：平成14年3月1日～令和5年12月31日

注：降水量は、平成20年3月25日から0.5mm単位で観測

：風速は、平成21年9月25日から0.1m/s単位で観測

(4)活動経過

駒ヶ岳の火山活動経過は以下のとおりである。

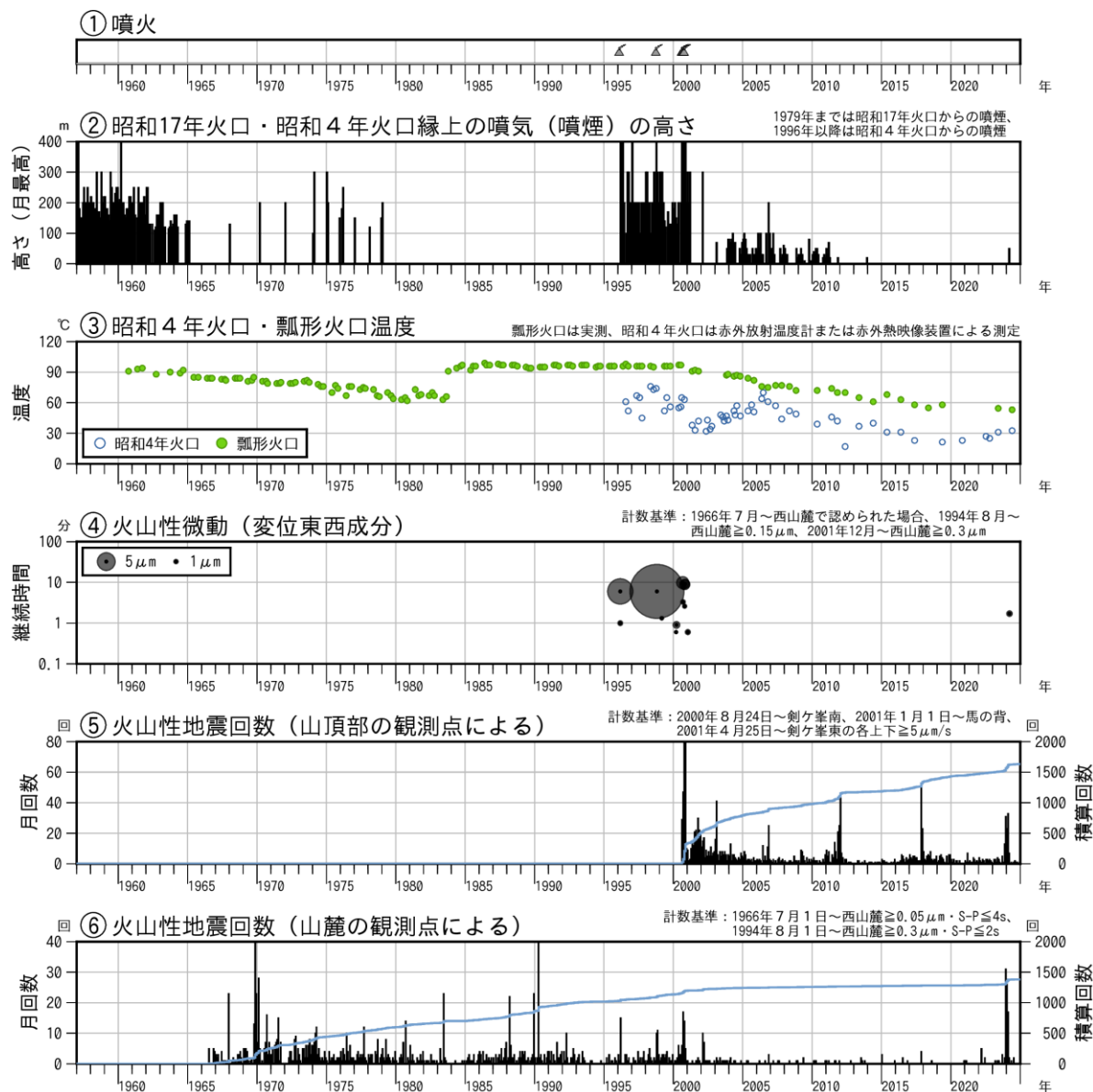


図2.2.7 火山活動経過図（1957年1月～2024年12月）

※赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度と温度分布を測定する計器で、熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

2.3社会条件

(1)3町の人口及び世帯数

森町は、人口・世帯数ともに減少傾向にある。鹿部町の人口はほぼ横ばいであり、世帯数がやや増加傾向である。七飯町は、人口・世帯数ともに増加傾向にある。1世帯あたり人口を見ると、3町とも減少傾向にあることがわかる。

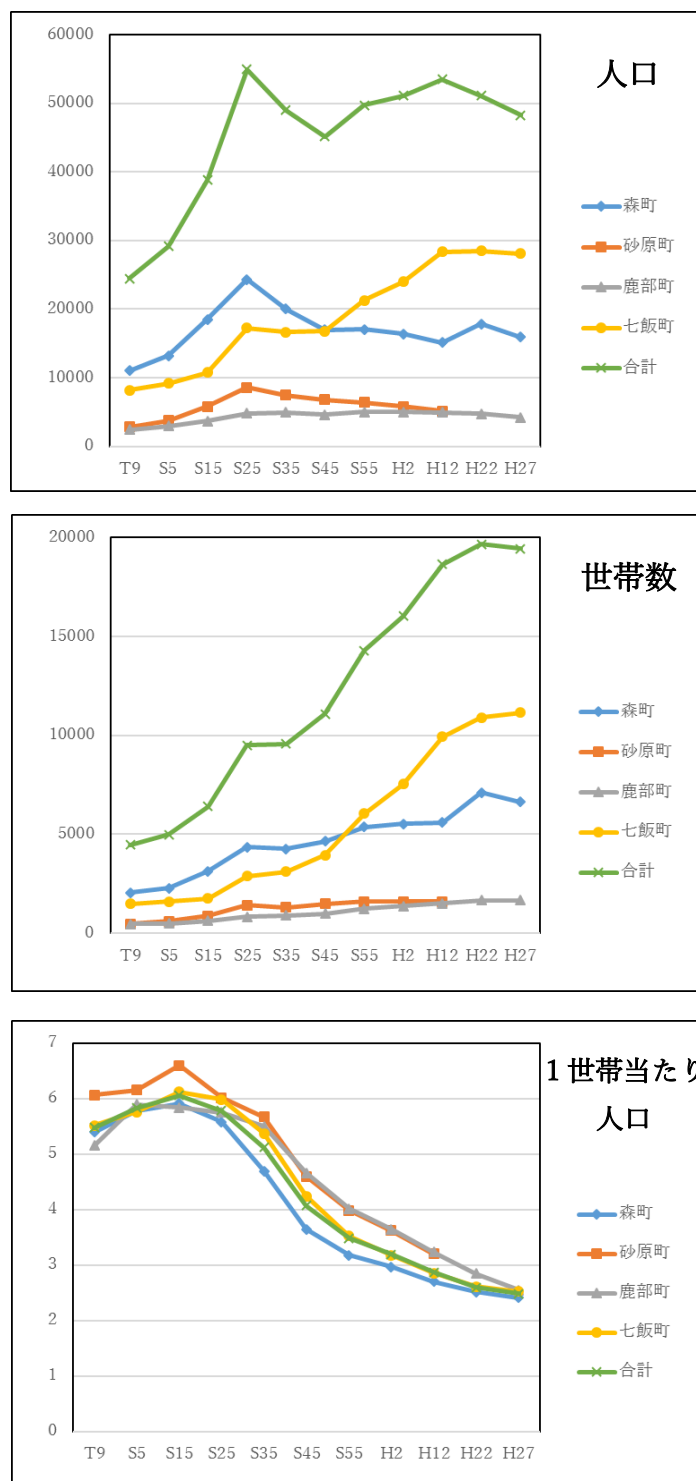


図2.3.1 人口・世帯数などの推移

(平成27年国勢調査結果より)

※砂原町は平成17年に森町と合併した。

(2) 駒ヶ岳周辺の人口

地域統計メッシュ(約500mメッシュ)を用いて駒ヶ岳周辺の人口分布図を作成した。駒ヶ岳の山麓の平地部で、1～200人のメッシュが多い。森町・鹿部町は役場がある市街地周辺で、七飯町では大沼公園駅周辺で人口が多くなっている。

65歳以上の人口構成比は、3町全てで30%以上となっている。

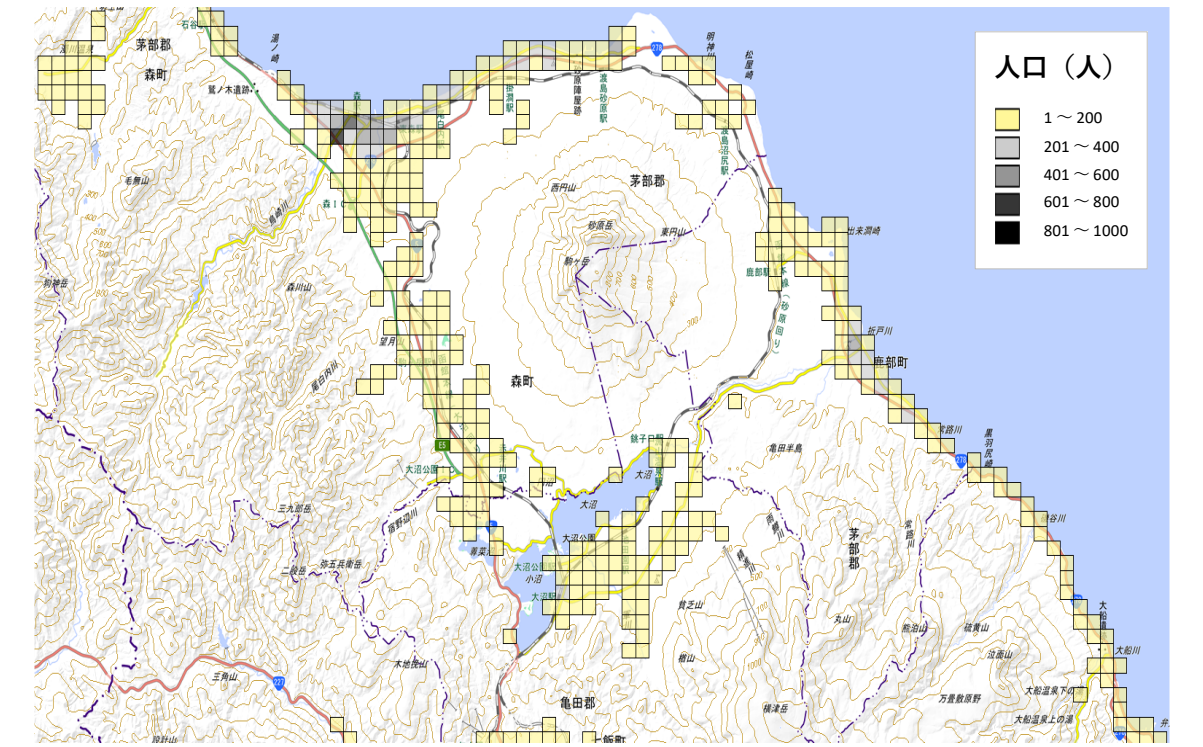


図2. 3. 2 駒ヶ岳周辺の人口分布 メッシュがない場所は人口がゼロ
(平成27年国勢調査地域統計メッシュ(約500mメッシュ)を使用)

表2. 3. 1 65歳以上の人口

市町	人口総数 (人)	65歳以上の人口 (人)	構成比 (%)
森町	15, 946	5, 526	34. 7
鹿部町	4, 226	1, 518	35. 9
七飯町	28, 120	9, 058	32. 2

(3)交通

①国道と道道

国道は、駒ヶ岳西麓を通る国道5号と、駒ヶ岳東麓を通る国道278号がある。主要地方道である道道大沼公園鹿部線が七飯町大沼と鹿部町宮浜を結び、これら3本の道路で、駒ヶ岳を1周できる。上記の道路は、比較的道幅が広いが、市街地に入ると道幅が狭い場所もある。

②高速道路

高速道路(道央自動車道)は、国縫インターチェンジ(長万部町国縫)から大沼公園インターチェンジ(森町赤井川)まで完成しており、大沼公園-七飯間は建設中である(2024年12月現在)。本道路は、火山噴火時における重要な避難道路となる。

森インターチェンジは、国道5号と国道278号の合流点近くにあり、火山噴火時における重要地点と言える。

③鉄道

駒ヶ岳の山麓をJR北海道の函館本線が通っている。普通電車のほか、函館と札幌を結ぶ「特急北斗」が通過するルートである。

函館本線には、駒ヶ岳西麓を通る「大沼回り」と、駒ヶ岳東麓を通る「砂原回り」の2つのルートがある。

④空港

駒ヶ岳周辺の最寄りの空港としては、函館空港があり、函館空港の次に近い空港は、新千歳空港である。

⑤港湾

港湾は、地方港湾の森港を含め、各種漁港がある。周辺には特定重要港湾である室蘭港、重要港湾である函館港などがある。

参考 表2.3.2 港湾と漁港の種類

種類	説明
特定重要港湾	特に外国貿易の基地として、産業や国民の生活を支えている港。
重要港湾	海外や国内の海上交通の基地として、産業や地域の人々の生活を支えている港。
地方港湾	地方と地方を結び、地域に住む人々の生活に貢献する港。
第1種漁港	主に地元漁業の漁船が利用する漁港。
第2種漁港	利用範囲が第1種漁港と第3種漁港の中間の漁港。
第3種漁港	全国的に活動している漁船が利用する漁港。



図2.3.3 駒ヶ岳周辺の交通網(上：詳細図、下：広域図)

(4)自動車保有台数

駒ヶ岳周辺の避難には各家庭の自家用車が使用されると予想される。各町の自動車保有台数を表2. 3. 3と図2. 3. 4に示す。

避難車両となると思われる乗用車と軽自動車の合計は、森町・鹿部町・七飯町の3町で約33,000台となるが、駒ヶ岳周辺から避難する車両は、森町・鹿部町の2町が相当すると仮定した場合、約15,000台程度となる。このほかに観光客や業務中の車両が含まれる。

表2. 3. 3 自動車保有台数一覧表

(平成30年3月31日現在)

区分	種別	森町	鹿部町	七飯町	計
避難車両候補	乗用	6,088	1,524	9,644	17,256
	軽自動車	5,562	1,496	9,398	16,456
	小計	11,650	3,020	19,042	33,712
その他	小型二輪車	188	18	298	504
	乗合用	61	33	64	158
	貨物用	1,908	371	2,312	4,591
	特殊車	410	64	509	983
	大型特殊車	223	39	232	494
総 数		14,440	3,545	22,457	40,442

(北海道運輸局 自動車保有車両数関係統計より)

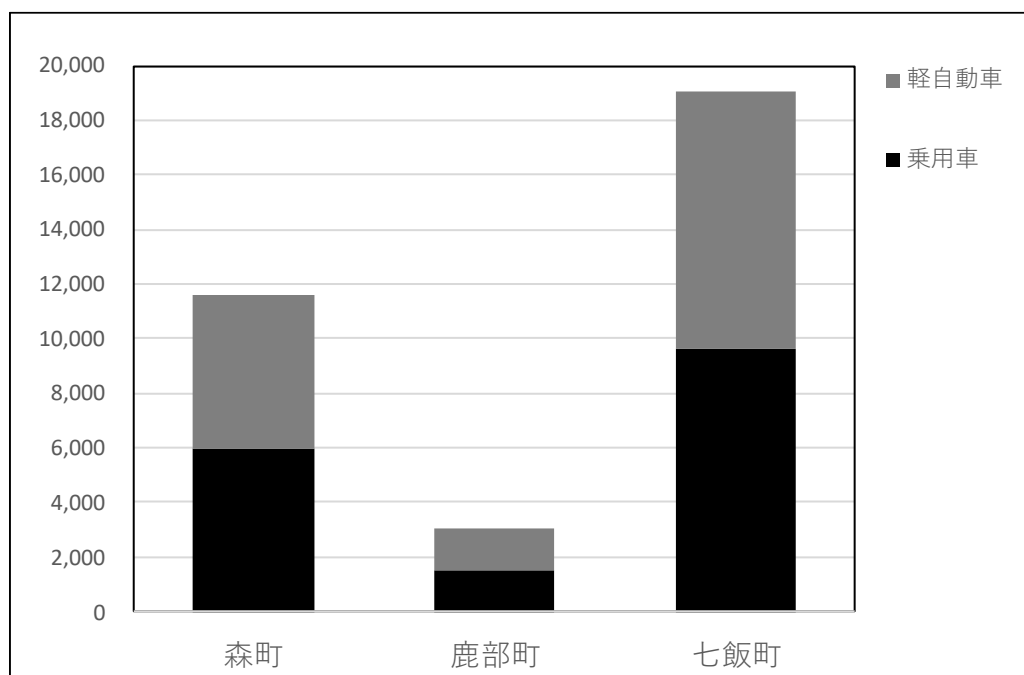


図2. 3. 4 乗用車・軽自動車の台数

(5) 観光入込客数

駒ヶ岳周辺に観光に訪れる人数を表2.3.4および図2.3.5にまとめた。各町によって観光入込客数が大きく異なる。七飯町は観光地である大沼公園があるため、観光入込客数が多く、特に夏場が多い。森町で5月が多いのは、さくらまつりが開催されるためである。

表2.3.4 観光入込客数一覧表(平成29年度)

	森町	鹿部町	七飯町
4月	53,200	35,900	100,100
5月	177,000	63,700	149,200
6月	60,100	45,100	133,400
7月	81,100	52,300	176,500
8月	90,900	93,700	199,700
9月	85,600	47,500	239,000
10月	64,600	44,200	229,400
11月	43,800	24,100	163,800
12月	45,000	12,600	157,400
1月	69,100	10,500	88,200
2月	58,600	11,700	83,900
3月	53,100	18,400	117,700
年間合計	882,100	459,700	1,838,300

(北海道観光入込客数調査報告書より)

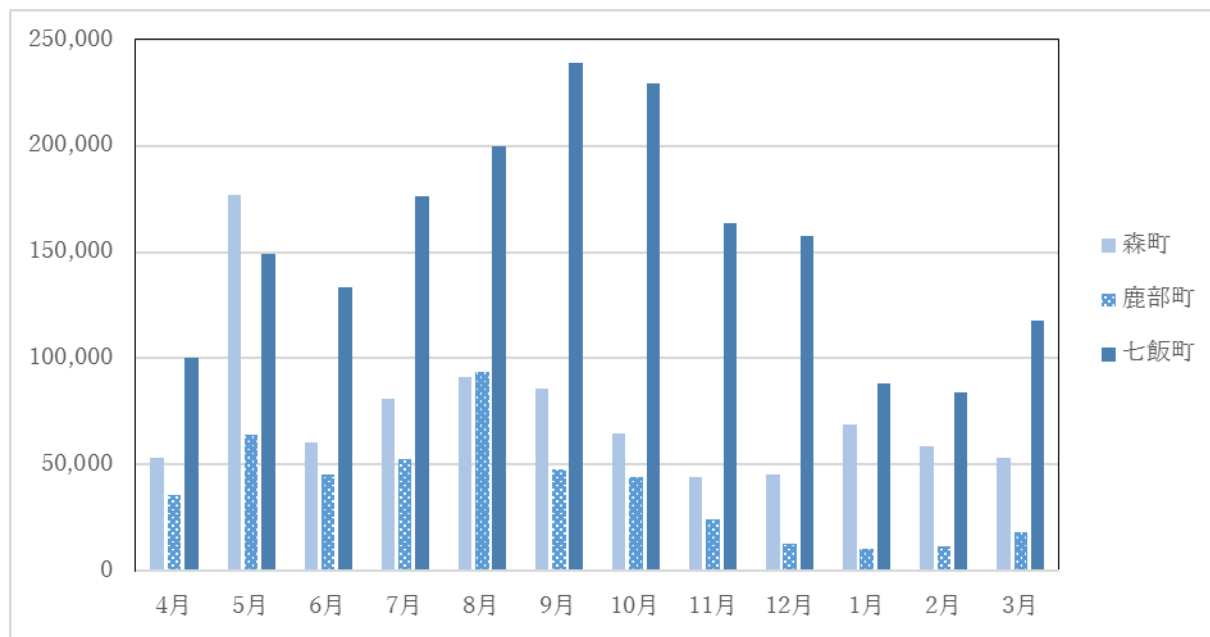


図2.3.5 観光入込客数の変化(平成29年度)